

【上椎葉(かみしいば)ダム】

上椎葉ダムは、宮崎県椎葉村にある昭和30年に建設された高さ110mの日本初の大規模なアーチ式ダムで、ダム湖はダム湖百選のひとつです。このダムの水を利用する上椎葉発電所は、最大約9万kWの電気をつくることができます。ツアーでは、保守点検のために設置している「キャットウォーク」にもご案内します。

(上椎葉ダム全景)



(キャットウォーク歩行体験)



(女神像公園)



【塚原(つかばる)ダム】

宮崎県諸塚村に昭和13年に建設された高さ87mの重力式ダムです。建設当時は東洋一の高さを誇り、万里の長城のような小塔や意匠を凝らした欄干など、デザイン性に富んだダムです。国の「登録有形文化財」に登録、経済産業省の「近代化産業遺産」に認定されています。このダムの水を利用する塚原発電所は、最大約6万kWの電気をつくることができます。

(塚原ダム全景)



(小塔と欄干)



〔工事中の発電所・ダム〕

【塚原(つかばる)発電所】

塚原発電所(諸塚村)は、設備の老朽化に伴い、既設発電所の隣に新しく発電所を建設中です。新旧建屋や水圧鉄管が並び立つ光景は、工事期間中しか見ることができません。

【山須原(やますばる)ダム】

山須原ダム(諸塚村・美郷町)は、現在改造工事を実施しており、新たに日本最大のラジアルゲートの据え付け工事が完了しました。新ゲートの背面にご案内しますので日本最大のゲートを間近でご覧いただけます。

(塚原発電所)



(山須原ダム全景(工事中)と新ゲート)



【一ツ瀬（ひとつせ）ダム】

一ツ瀬ダムは、昭和38年に建設された高さ130m、長さ416mと美しくカーブを描く九州最大のアーチ式ダムです。保守点検のために設置している「キャットウォーク」にもご案内します。

(一ツ瀬ダム全景)



(キャットウォーク歩行体験)

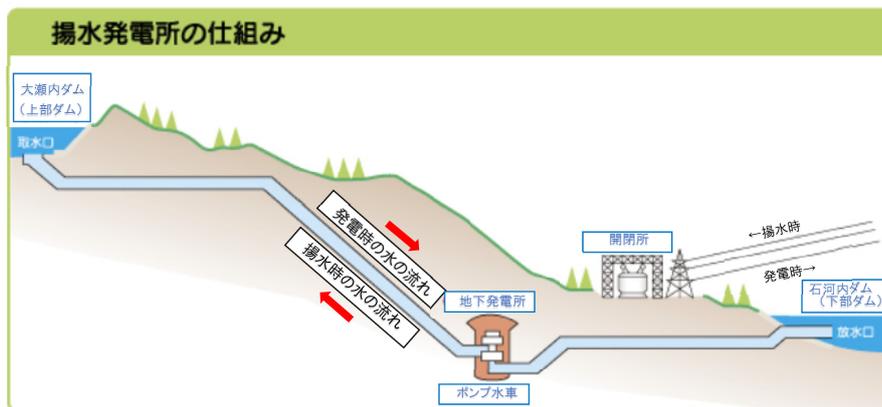


【小丸川揚水（おまるがわようすい）発電所】

小丸川発電所は、平成19年7月に初号機、平成23年7月に全号機120万kWの営業運転を開始した、九州最大の揚水式水力発電所です。

揚水発電所の特徴は、“発電に使った水をくみあげて（揚水して）再び発電に使う”ことです。電気は貯めることができないため、電気の使用量が少ない時間に下部ダムの水を上部ダムへくみあげて水の形で貯め、使用量の多い時間に上部ダムの水を利用して発電しています。

最近では、太陽光で発電した電気を利用して昼間に揚水を行い、夜に発電するなど、太陽光発電などの再生可能エネルギーの最大限の利用に寄与しています。



(発電機上部写真)



【石河内（いしかわうち）ダム】

石河内ダムは、小丸川揚水発電所の下部ダムとして平成19年に建設された長さ185m、高さ48mのコンクリート重力式ダムです。

(石河内ダム全景)

